

【樹木の部屋】

プリペット (モクセイ科イボタノキ属 *Ligustrum sinense*)

和名 : **別名** : セイヨウイボタノキ

英名 : privet、pripet

ゴマノハグサ目 半常緑低木 **原産地** : ヨーロッパ、中国

花言葉 : くつろぎ **花の色** : 白



← **写真-1** プリペット

撮影日 : 2016 年 5 月 25 日

撮影場所 : モナコヴィル地区 (モナコ公国) にて

撮影者 : M さん

モナコ F1 グランプリの会場とモナコ湾を見下ろす高台。市庁舎近くの植え込みに咲いていました。日本では、プリペットと呼ばれる樹。刈り込みや大気汚染によく耐えるため、日本へも緑化用に導入され、道路沿いの植え込みなどに使われています。家庭の生垣にも、多く観られます。



← **写真-2** プリペットの花

撮影日 : 2016 年 5 月 25 日

撮影場所 : モナコヴィル地区
(モナコ公国) にて

撮影者 : M さん

ところで、イボタノキとセイヨウイボタノキ (プリペット) の違いは？イボタノキは在来種でモクセイ科の落葉低木で、日本各地の山野に自生。一方、セイヨウイボタノキ (プリペット) は外来種。白い斑入りのシルバープリペット、黄色い斑入りのプリペットレモンライムと呼ばれる種などがあるそうです。

斑入りの種は、しばらくすると緑の普通のプリペットが生えてくるそうです。緑の葉の性質が強いため、放任すると斑入りの葉がなくなるため、緑の枝が生えてきたら、コマメに切って落とすと良いそうです。

一方、プリペットは、自然樹形を維持するのが大変。上下に絡み合うように徒長枝が発生し、思うようにまとまらない上に、妙に曲がった枝が数多く発生する、剪定には苦勞する樹です。が、どこで剪定してもすぐに密生するので、好きな位置で切って構わない利点？も・・・。

剪定時期は、5～9月頃までの酷暑を除けば、いつでも剪定可。5～6月にかけて独特の芳香がある花が咲くので、花を觀賞したい方は花後に・・・。

<ちょっと一言>

*イボタノキ（水蠟樹・疣取木）、モクセイ科イボタノキ属

学名 : *Ligustrum obtusifolium*)